



映像



職員の採用試験を早める予定は

ふじもと かずみ
藤本 和美 議員

少し前倒しをして実施することを検討



幸田町職員採用ガイドブック

問 今後採用試験を早める予定や考えは。
答 大卒、短大卒向けの一次試験を、少し前倒しして実施する

SDGs未来都市の有機農業の現状は取り組みはできておらず全体数は未把握

問 早期試験の自治体に優秀な本町出身者がとられていなか。
答 総務部長▼受験者の出身地は加味していない。町内外を問わず幅広い地域から応募がある。

問 人事異動の内示時期の前倒しは。
答 近隣の状況を参考にしながら検討。

近隣市では4月から採用の一次試験が始まり、6月には合否が出る。その後に本町の試験が始まるため、遅すぎるとの声も。

ことを検討。

問 会計年度任用職員が正規職員の試験を受ける際、優遇条件はあるのか。
答 優遇措置はないが、今後は国や近隣の事例を研究したい。

前田川の排水域は左図のとおり、荻、横落、岩堀、桜坂、芦谷各区等広範囲であり、流下能力は限界に来ている。

問 前田川水系上流で計画中の、幸田荻谷土地区画整理事業では、約10年毎にやってくる100年確率の豪雨に対応して、調整池はせめて50年確率にすべきでは。

答 建設部長▼基準通りの30年確率降雨対応の調整池が妥当と認識している。

問 住民が安心して暮らせるよう、町の総合力で前田川水系の整備を進めていただきたい。

答 環境経済部長▼田んぼダムは洪水被害軽減をはかるもので、治水対策の有効手段の一つとして考えている。



映像

本町の総合力で前田川水系の治水整備を

つづき ゆきお
都築 幸夫 議員

日常管理や水防災対策で安心の流れ確保

前田川水系とは の領域



問 前田川の排水域は左図のとおり、荻、横落、岩堀、桜坂、芦谷各区等広範囲であり、流下能力は限界に来ている。

問 前田川水系上流で計画中の、幸田荻谷土地区画整理事業では、約10年毎にやってくる100年確率の豪雨に対応して、調整池はせめて50年確率にすべきでは。

答 建設部長▼基準通りの30年確率降雨対応の調整池が妥当と認識している。

問 住民が安心して暮らせるよう、町の総合力で前田川水系の整備を進めていただきたい。

答 環境経済部長▼田んぼダムは洪水被害軽減をはかるもので、治水対策の有効手段の一つとして考えている。

問 幸田荻谷土地区画整理地の上手で圃場整備事業が計画されると、田んぼダム導入をどう取り組むか。

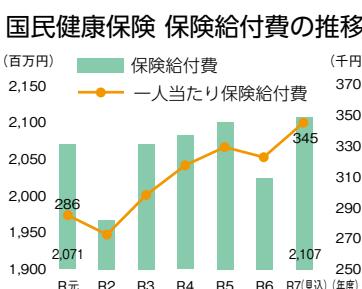
福祉産業建設委員会協議会

11月7日

証明書コンビニ交付で利便性向上



役場窓口に行かず、住民票の写し等を取得できることから、利用が少しずつ増えてきて、令和7年3月にコンビニでの手数料が半額の100円に減額され、利用者が17・5%から26・5%に増加した。



(その他4項目を協議)

問 コンビニ交付増でも窓口が楽になった。
もっとPRし、活用を。

答 広報、HP、チラシなど活用し、利用を増やしていくたい。

問 コンビニ交付増でも窓口が混み合っているのはなぜ。

答 マイナンバー、パスポート申請多い。

国民健康保険税を
やむを得ず増税へ

平成23年度より、据え置いてきたが、保険給付の増加や国保税収入の減少から、収支を保つことが困難になり、やむを得ず国保税を改定する。

総務教育委員会協議会

11月4日



機能別分団が設置される

問 任期はあるのか。

答 選出する時に地区を考慮するのか。
地区で1人ということは考えてない。



機能別分団員による誘導

中で、消防団組織に機能別分団を設置し、消防団を中心とした、地域防災力の強化を図ることが目的。
※機能別分団員は、消防団員及び消防職員であった経験者



楽しむ利用者

[活動内容]

- ・災害情報の収集と報告、住民への伝達
- ・避難誘導と安否確認
- ・避難所運営の支援

問 機能別分団員による誘導

答 22時まで使用すると、鍵の返却ができないが問題ないか。

問 翌日に早い段階で返却をお願いする。

答 (その他4項目を協議)

学校体育館空調の使用状況が報告される

大規模災害が高まる中で、消防団で決めていただく。

問 機能別分団は日々の活動はあるのか。

答 年間の訓練活動はない。

問 の活動はあるのか。

答 年間の訓練活動はない。